

新人スタッフインタビューを終えて

“はまゆう会へようこそ”から半年、期待に胸を膨らませながらも不安を抱え新たな夢を求めて入職された新人の皆様、皆様はもう立派な“オーケストラはまゆう”の一員です。

患者さんは新しい若い力に期待しています。たとえミスがあったとしても、素直に“申し訳ありません、次は頑張ります。”の一言で全てがスルーです。言い訳は禁句です。これが先輩たちが今日迄築いてきたはまゆう会の文化です。“いつもあなた方のことを思っています”との思い遣りが毎日の仕事を楽しくしてくれます。“誰かが私を待っていてくれる”と想像しただけで出勤の足取りが軽くなります。職域間のお互いのコミュニケーションとコラボレーションが発揮されてこそ安心と信頼が生まれます。

新人の皆様とご縁が始まって半年、その間に私共は新病院移転の貴重な体験をしました。ここで今期20名の新人インタビューの感想を述べます。総じて今回のインタビューはかしこまった個人面談というより、お互いに語り合う対話の場であったようで、私にとって楽しい一時でした。皆様には、ありのままのタイムリーなホームページ発信がいかに大切であるかを教えて頂きました。一度に沢山の人が入職された年のはまゆう会は大きな転換を求められ、発展してきました。今回のご縁を大切に次のご縁に繋げればと念じています。

インタビューは今の自分を考える手立てと思って、もう一度振り返ってみてください。これからどこに行っても通用する職業人になれるよう努力してください。それができるのはあなた自身であり、先輩はあなたにとって支援者であり対等なパートナーにすぎません。

あなた方はよく頑張りました。さあ、“オーケストラはまゆう”の本番が始まります。

平成26年11月15日

はまゆう会会長 市丸 喜一郎